

第四十一回帝國議會  
衆議院

裁判所ノ設立ニ關スル法律案外二件

(裁判所ノ設立ニ關スル法律案  
大正二年法律第九號中改正法律案  
不動產登記法中改正法律案)

委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正八年二月十日午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

政尾 藤吉君 八木 逸郎君 赤尾 彦作君  
高見 之通君 渡邊 陳平君 萩 亮君  
川村 惇君 長尾 元太郎君 高田 稔平君  
井戸 文四郎君 近藤 達見君 小川 寅六君  
尾崎 敬義君 近藤 慶一君  
出席政府委員左ノ如シ

司法次官 鈴木喜三郎君

司法省法務局長 法學博士 豐島 直通君

司法省參事官 法學博士 山内 確三郎君

司法省參事官 飯島 喬平君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

裁判所ノ設立ニ關スル法律案

大正二年法律第九號中改正法律案

不動產登記法中改正法律案

○委員長(法學博士 政尾 藤吉君) 開會致シマス、委員

證君ニ御報告致シマス、栃本縣ノ佐野區裁判所復舊ノ  
請願ト、足利區裁判所新設ノ請願ト、是ガ請願委員長ノ  
報告ニ依テ、議長カラ委員長ノ方ヘ參テ居リマス、此事  
ヲ御吹聴致シマス、前回ニ引續イテ、質問ガアリマスナラバ  
質問ヲ爲サルヤウニ願ヒマス

○高見之通君 私ハ此不動產登記法第八條ノ改正ニ關

シテ疑ガアリマス、其點ヲ明確ニシテ置キタイト思ヒマ  
ス、此條文ヲ見マス、司法大臣ハ一ノ登記所ノ管轄ニ  
屬スル事務ヲ他ノ登記所ニ委任スルコトヲ得、下書イテア  
リマス、此意味ハ少シ漠然トシテ居ラナイカ、場合ニ依ルト非  
常ナ遠隔ナ地方ノ一ツノ登記所ガ、他ノ登記所ニ事務ヲ  
委任スルコト云フ便ガアル、且ツ元來管轄區域ハ法律ニ依  
テ嚴肅ニ定メラレタルノヲ、司法大臣ガ命令デ以テ勝手  
ニヤルト云フコトハ、法律ヲ管轄區域ヲ定メタル云フ觀念  
ニモ相反スルヤノ疑ヲ持ツノデアリマス、併シ今度ノ改正ニ  
付テ、便否其他ノ關係ニ於テ、已ムヲ得ズ此方ノ登記事務  
ヲ他ノ登記所ニ委任スルコト云フコトガアルカ知レマセウケ  
ドモ、其條文デテ見マス、何トナク餘リニ廣イヤウナ感ヲ  
懷クノデアリマス、宛ニ角ドウ云フモノデアリマセウカ、要  
スルニ第一點ハ法律デ以テ裁判管轄區域ヲ定メタルノヲ  
司法大臣ノ命令デヤルト云フコトハ、命令ハ命令デ又變更

ガ出來マスガ、交通便利ガ色々變更スルコト云フ、甲ノ命令  
ガ乙ノ命令ニナルト云フ虞ガアルカモ知レマセウケ、斯ウナル  
ト折角作ラ、詰マリ法律ヲ以テ管轄區域ヲ定メタル云フ根  
本ノ觀念ニ反セザルヤ否ヤト云フコトガ、一ツ又司法大臣  
ノ命令デ以テ置クモノデアリマス、他ニ或ハ例ヘバ此裁  
判所ノ登記ノ目的物タル所ノ不動產ガ兩登記所ニ跨ル  
キニ於テハ、接近ノ裁判所ガ解決スルコト云フヤウナ、例ヘバ  
第八條ノ二ノヤウナ判斷ヲ以テヤルト云フ場合ナライザ知  
ラズ、單ニ命令ノデヤルト云フ風ニナルト、種々ノ弊害ガ起  
ラヌカト云フコトノ憂ヲ持テ居リマス、此邊ハ如何デアリマ  
スカ、又實際ノ立法ノ趣意モ、交通ノ便否ニ鑑ミ、司法大  
臣ノ命令デ以テ他ノ登記所ノ管轄ニ事務ヲ取扱ハセルト  
云フノデアリマスガ、遠ク離レタヤウナ登記所カラ登記所  
ニヤルト云フヤウナコトハ、無カラウカト思ヒマス、單ニ理由書  
ダケデハ分リマセウケ、隣接セル登記所ト登記所トノ間ニ於  
テノミ其問題ヲ處理スルコト云フヤウナ、殊ニ將來ノ爲メデ  
アリマス、徹底シテ置カテレバナラヌト思ヒマス、此點ハ  
小ニシテ其實小ニ非ズ、此場合ニ於テ十分研究シ、又十分  
ニ當局ノ聲明ヲ待ツ必要ガアルト思ヒマス

○政府委員(法學博士 鈴木喜三郎君) 高見君ノ御質  
問ハ御尤デアリマス、法律ノ趣意ト致シマス、遠隔ノ  
地ニアル出張所事務ヲ遠ク離レタ、他ノ出張所ニ委任スル  
ト云フ趣意デハゴザイマセウケ、勿論近接ノ出張所ニ、言  
ヒ換ヘツバ隣リノ出張所ニ委任スルコト云フコトデアリマス  
カ、北海道ノ出張所事務ヲ、九州ノ方ノ登記所ニ委任スル  
ト云フコトデアリマス、即チ朝鮮ニ省令ヲ以テ廢シ、  
タニ省令ヲ以テ之ヲ改メタルコト云フコトモ、成程省令デハ  
アリマス、勝手ニ出來ルコト云フ御心配ナラサウデア  
リマセウケレドモ、サウ亂政ヲ施スベキモノデハナカラウト思  
ヒマス、而シテ是ニ類似スル所ノ前例ハ、現行法ノ訴訟事  
件手續法第五百五十五條ニ此間ノ條文ヲ設ケテ居リマス、  
而シテソレハ商業登記ノ事デアリマス、二十年來之ヲ施  
行シ來リマシテ、司法大臣ガ專斷ニ所謂土地ノ便利ヲ圖  
ル爲メニ設ケタル所ノ精神ヲ無視シテ、勝手次第第二人ノ頼  
ミニ應ジテ、甲ノ出張所事務ヲ乙ノ出張所ニ委任スルコト云  
フコトハ、萬々無イノデアリマシテ、御質問ニナリマシタ事ハ御  
尤デアリマス、法律ノ精神ト云フモノハ、決シテ九州ノ事  
件ヲ北海道ニ委任スルコト云フ意義デナイノデ、近接ノ出張  
所ニ委任シテ以テ其便利ヲ圖ル、前回ニモ御質問ガアリマ

シタガ、登記管轄割ヲ法律デ定メタルノデアリマス、管  
轄ノ變更ヲシタラ宜イデナイカト云フ御議論モアルガ、ソレ  
ハイカスノデアリマス、區裁判所ノ登記管轄ハ法律ニ依テ  
之ヲ定メマシテ、其定メマシタル管轄區域ガ大變當事者ニ  
便利ニナル、所ガ御承知ノ通りニ出張所ト云フモノハ一區  
裁判所ニ澤山アル、澤山アリマス區裁判所ノ方ニ行キマス  
ルニハ、今回ノ改正法律ノ爲メニ便利ヲ得ルケレドモ、出張  
所ハ之ガ爲メニ却テ遠クナルト云フ場所ガ全國ニ於テ澤山  
アルノデアリマス、其遠クナル不便ヲ避ケルガ爲メニ、已ムヲ  
得ズ法律上登記管轄ヲ定メテアリマス、他ノ出張  
所ニ其事務ヲ委任スル、斯ウ云フ精神ニ出テ此法律ヲ作  
タノデアリマス、決シテ勝手次第第二條モユカリモ無イ、登  
記所ニ持ッテ行クト云フノデナイ、無論近接ノ出張所ニ行ク  
ト云フ趣意デアリマス

○高田 稔平君 此間ノ質問ニ續キマシテ、尙ホ佐野足利  
ノ關係ニ付テ政府ノ說明モアリマシタガ、モウ一ツ前川君ノ  
質問ニ對シテ政府委員ノ說ハ、宛ニ角廢止セラレタル區  
裁判所ヲ復活シタル後チ、非常ニ便利ガ良クナッタ、曉ニ於  
テハ、整理シナケレバナラヌモノデアルト政府ハ考ヘテ居  
ル、斯ウ云フコトデ此聲明ハ、今回ノミナラズ、此前或ハ其前ニ  
於テモ區裁判所復活ノ問題ノ時ノ政府ノ聲明デアリマス、  
詰マリ復活ト云フコトガ、殆ド絕對至難ニナッテ居ル故ニ、  
先年來復活シタ六十四ヶ所、本年ニ於テ復活ノ一新設  
ノ三十二ヶ所ノ中ニ於テモ、北海道ノ如キ二ヶ所ヲ除ク外  
ハ殆ド復活デアリマス、即チ從來アツタ場所ニ置クト云フニ  
過ギナイノデアリマス、佐野ニ在ッタモノヲ足利ニ持ッテ行ク  
ト云フコトハ、殆ド外ニハ無イノデアリマス、是ニ對シテ鈴木  
司法次官ノ答辯ハ、足尾ガ今度宇都宮ノ區域デアルモノヲ  
區域ヲ變更シテ足尾ニ達スル鐵道ガ出來タガ故ニ、交通ノ  
便利ノ上カラ佐野ヨリ足利ガ宜イト云フ御答辯ノヤウニ承  
知シマス、ソレハ成程私モ地形ヲ知ッテ居リマス、一應  
御尤ト思ヒマス、併シ佐野及足利トノ間ノ距離ハドレダ  
ケカト云フ、非常ニ交通ノ便利ガ良イ、足利ヨリ佐野マデ  
僅カ十九分アレバ、足利佐野ノ間ハ彼此何回モ往復スルコ  
トガ出來マス、故ニ若シ足尾ノ今度復活スル、或ハ新設ス  
ル裁判所ノ區域ニ入レマシタ所ガ、僅カ十九分ノ差ノ問題  
デアリマス、足利ニ致シマシタ所ガ佐野ニ致シマシタ所ガ、  
同ジク十九分デアリマス、此十九分ノ問題ノ爲メニ、九十  
何箇所復活スル場合ニ、單ニ此佐野ノ復活スベキモノヲ足

七

利ニ復活スルト云フコトハ、ソレ程ニ重キ意味ヲ爲サスト思フノデアリマス、更ニ私共ガ佐野ニ復活ヲ必要トスル理由ヲ申シマス、足利郡ノ人ガ假令佐野ニ復活致シマシタ所ガ、大抵其日ニ必ズ往復ガ出来マス、佐野ニ致シマシタ所モ其日ニ往復ガ出来マス、佐野ニ致シマシタ所ガ、足利郡ノ便否ハサウデゴザイマス、ソレト同意味ヲ以テ、足尾ヘモ佐野往復ハ僅カ十九分デアリマス、佐野ニシタ所ガ足尾ニシタ所ガ、其日ニ立派ニ往復ガ出来ル、所ガ若シ足利ヘ持テ行クト云フトドウ云フ結果ニナルカト云フト、安蘇郡ノ中デモ主要ナル町ノ葛生町等ヨリ致シマシタ、佐野ナラバドウニカスウニカ其日ニ往復ガ出来マス、足利ニナルト十九分ノ時間ハゴザイマス、東武鐵道ノ支線ニ乗テ參リマシテ、佐野ヘ乗替ヘルノデアリマスガ、彼邊ノ汽車ハ主ニ小山デ聯絡シテ居ルノデアリマス、足利ヘ行クニハ甚ダ聯絡ガ惡ク出来テ居ル、仍テ葛生町及其附近町村ヨリハ、到底足利町ヘ其日ニ往復スルコトハ絶對ニ不可能デアル、即チ安蘇ノ山間ニ在ル多クノ部落ノ葛生町以外ノ部落ハ、若シ足利トスレバ其日ニ往復ハ不可能デアス、佐野ナラバドウニカスウニカ出来ル、斯ウ云フ譯デアリマス、サウスルト土地ノ便否ノ爲メ佐野ニ復活スベキモノヲ足利ヘ持テ行クト云フ、理由ハ何ノ意味モ無イコトニナル、ソレガ又外ノ區裁判所ニ於テ九十箇所ノ復活スル場合ニ際シマシテ、他ニモ交通便否ノ關係ヨリ、此位ノ理由ヲ以テ復活スベキモノヲ新設スルコトガアルナラバ免モ角モ九十箇所ノ内、新設スベキモノハ僅カ北海道ノ二箇所ヲ除ク外、他ノ九十箇所全部元ノ位置ニ復活スルト云フコトハ、政府委員ノ過日説明シタ通りアリマス、左スレバ交通ノ便否ヨリシテ、何等此足利町ヘ持テ行ク理由ガナイ、寧ロ佐野ニ復活スルコトガ便否上必要ナリト信ジマス、九ノ何箇所始テ全部ニ向テ同一場所ニ復活シタノニ、此佐野ニ於テノ復活ヲ拒ンデ新ニ足利ニ設ケルト云フコトハ、何等ノ理由ヲ以テ致シタノデアリマス、殆ド其意味ヲ解シ兼ネルノデアリマス、尙ホ一應詳細ナル御辯明ヲ請ヒマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 大分御議論モ御意見モ加ッテヤウチゴザイマス、政府提出ノ理由ハ前同モ申上ゲマシタ通り、足尾ヲ此佐野ニ足利ニシロ加ヘマシテ、一ノ區裁判所ヲ新設致シマス、地理上カラ考ヘマシテモ、便否ノ點カラ考ヘマシタ所ガ、足利ヲ以テ中心トスル、故ニ佐野區裁判所ヲ復活セズシテ足利ニ區裁判所ヲ置イタ、斯ウ云フ事ヲ申上ゲ置イタノデアリマス、而シテ足尾ノ便否ヲ考ヘマシテ、足利ニシロ、佐野ニシロ、一ノ區

裁判所ヲ設ケルトスレバ、ドウシテモ以上申シマシタ通り足利ガ中心ニナル、而シテ又足利ト佐野區裁判所ノ管轄デアリシ所ノ安蘇郡トヲ較ベテ見マス、人口ニ於テ、事件ニ於テ、餘程差異ガアルノデアリマス、即チ足利郡ノ方ガ人口ガ多イ、又足利郡内ニ於ケル所ノ事件ハ、安蘇郡内ニ於ケル所ノ事件ヨリモ多イ、斯ウ云フ事デアリマシテ、而モ今申上ゲマス通り、足尾ヲ加ヘマスレバドウシテモ足利ガ中心ニナル、而シテ又經濟狀態カラ考ヘマシタ所ガ、足利ヲ以テ其當ヲ得タルモノト信ジテ斯ウ立案致シマシタ次第デゴザイマス、サウ云フ趣意デアリマシテ、從來ノ管轄通りニ致シマシタ所ガ、事件ノ數ト人口ノ數ト生産力ノ點カラ考ヘマスレバ、安蘇ヨリモ足利ノ方ガ先ヅ中心點デアラウト考ヘタノデアリマス、サウ云フ次第デアリマス、他ニハ類例ハアリマセヌノミナラズ、前年來私ガ説明致シマシタ通り、一ノ區裁判所ト一ノ區裁判所ガアッテ、一ノ裁判所ハ廢止サレテ居デハ復活シテ居ル、其中心ヲ得ヤウト云フナラバ、一ノ既ニ存在シテ居ル區裁判所ヲ廢止セ、サウシテ拵エナケレバナラズ、サウ云フヤウナ事ハ今暫ク整理ノ時期ニ入デカラシヤウト思フ、免二角一ノ裁判所ガ存在シテ居ルニモ拘ラズ、一面ニ區裁判所ヲ復活シテ居ルト云フ時期ニ於テ、其存在シテ居ル區裁判所ヲ廢メサセルト云フコトハ如何ニモ酷イデヤナイカ、ソレ故ニ先ヅ其地理上ノ中心ガ他ニアッデモ、總テノ復活事案ガ完成シタ時期ニハ、或ハ整理時期トシテ二箇所ノ區裁判所ヲ廢シタ、一ノ中心點ニ一箇所ヲ設ケルト云フ時モ來ヤウケレドモ、今日ノ場合ニ於テハ、復活事業ヲ先ヅヤラウト云フ積リデアルト云フコトヲ答ヘテ置キマシタ、ケレドモ此ノ足利佐野ノ問題ハ其例トハ違フノデアリマス、其例トハ違フカラ、他ニハ例ハアリマセヌケレドモ、斯ノ如ク立案致シタ次第デアリマス、ソレカラ又便否論カラ申シマスレバ、今申シマシタ通り足尾ヲ加ヘテ考ヘマスルト、ドウシテモ足利ガ中心點ニナル、ソレカラ今モ仰シヤル通り十八分デ通ヘルカラ、足利デナクシテ佐野ヘ置イテモ宜イデヤナイカト云フコトニナリマス、成程多少汽車ノ出發ノ度數ガ違フ點モアルカ知レマセヌケレドモ、佐野カラ見テ十八分デアラナラバ、足利カラ見テ又十八分デアラ、サウ云フ次第デアリマス、其點ハ足利ニ置キマシタ所ガ、エライ不便ヲ來スト云フコトハ無イト考ヘマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス

○高田耕平君 尙ホ一應質問シテ置キマス、私ガ質問シタ通り十九分ニハ違ヒアリマセヌガ、足利ノ人及足尾ノ人ガ、佐野ニテモ其日ニ殆ド出廷シテ往復ガ出来ル、併ナガラ安蘇郡ノ葛生町及其他山間ニ在ル大部落ノ人ハ足利デハ其日ニ往復ガ出来ナイ、是ハ事實デアリマス、確ニ事

實デアリマス、其事實ハ政府デ認メマス、御分リナリマセヌカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 唯今鐵道時間表モ持チマセヌ、ソレカラ幾度ドウナルト云フコトモ私カラ申上ゲ兼ネマス、實際ニ其事情ニ御詳シイ貴方ガ仰シヤルコトデアリマス、ソレハ間違ナカラウト思ヒマス

○近藤慶一君 一寸政府委員ニ御尋致シマス、唯今經濟上ノ狀況ナリ、或ハ事件ノ數、人口ト云フコトニ付テ御話ガアリマシタケレドモ、唯、足利ノ方ガ皆ナ宜イト云フダケノコトデアリマス、其内容ニ互ッテモウ少シ詳シク承リタイノデアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 足利郡ノ人口ハ九万八千四百六十六人、阿蘇郡ノ人口ハ八万九千八百五十五人、町申シマス、足利町ノ人口ハ二万九千三百六十五人、之ニ對シテ佐野町ハ僅ニ殆ド半バデアリマシテ一万四千八百九十六人、斯ウ云フヤウナ計數ヲ示シテ居ルノデゴザイマス

○近藤慶一君 ソレカラ經濟上ノ狀態、事件ノ數……

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 唯今事件ノ數ヲ持ッテ參リマセヌデゴザイマス、確ニ件數ニ於キマシテハ、足利町區域内ノ方ガ多イノデアリマス

○萩亮君 私ハ前回ニ出席シマセヌカラ、或ハ質問ガ重複スルカ知リマセヌガ、登記所ノ制ニ付テ一寸大體ノ御方針ヲ承リタイ、司法省トセラレテハ、今日ノ登記所ノ制度デ完全デアルト御考ニナッテ居リマス、或ハ今後擴張サレル御方針デアルカ、若シ擴張セラル、ナラバ、ドノ位ノ程度マデガ司法省トシテノ理想デアルカ、其點ヲ一寸伺ッテ置キタイ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 今日迄附設致シマシタル場所ノ標準ト致シマシテハ、千五百件乃至二千件、戶數ニ致シマシテ約六千戸ト云フ位ノモノヲ以テ、一登記所ノ分量トシテ居ルノデアリマス、尤モ土地ノ便否ヲ考ヘマシテ、ソレダケノ件數ニ達シテ居リマセヌデモ、八里、九里、十里、二十里ト云フ所、或ハ山又山ヲ越ヘテ行ク所デアリマシタナラバ、今申シマス通り千五百件アリマセヌデモ、千件位ノ所デモ一登記所ヲ設ケテ居ルモノモアルノデゴザイマス、而シテ今日ノ數ヲ以テ満足シテ居ルノデアリマセヌ、現ニ當年ニ於キマシテモ百有餘ノ場所ヲ選出致シマシテ、本年大正八年度ニ於テ其位ノ登記所ヲ拵エヤウト思ヒマシタケレドモ、財政ノ都合上、本年ハ僅ニ五十箇所分ノ費用ヲ要求シテ居ル次第デゴザイマス、是ハ漸次其數ヲ増シテ行ク方針デ居ルノデゴザイマス

○高田耕平君 唯今近藤君ヨリノ御問ニ對スル答辯デ

人口等ノ事ハ分リマシタ、詰マリ佐野ト足利デハ、足利郡  
ガ九万餘安蘇郡ガ八万九千幾ラト云フ、僅カ二千カ三千  
ノ差デアル、ソレカラ又町ノ比較ト致シマシテ足利ト佐野ト  
比較シマス、唯今ノ通り半分違フ、併ナガラ足利ニハ他  
ニ町ト云フモノハゴザイマセヌ、殆ド村落バカリデアル、所ガ  
安蘇郡ニハ佐野ノ外ニ田沼町、葛生町ト云フノガゴザイマ  
ス、其等ノ人口ヲ合スレバ、確カ足利ニ近イモノニナルト思  
ヒマス、サウスルト單ニ人口ト戸數ノ差カラ云ヘバ、安蘇郡  
ハ足利郡ニ比較スルト極メテ僅少ナ差デアルト云フコトガ  
御認ニナラウト思フ、先程時間ト交通ノコトニ付テ御聽シ  
マシタラ、成程高田ハ地理ヲ知テ居ルカラ、高田ノ言フ通  
リデアラウト云フ御話デゴザイマシタガ、サウスルト交通ノ便  
否ニ付テ緻密ナ御調ハ爲サラヌヤウニ思ヒマス、私共佐野  
トスレバ、足利マデ全部登記ガ出來ル、若シ之ヲ足利トス  
レバ、安蘇郡ノ一ノ部落ハソレニ登記ガ出來ナイコトハ、餘程  
交通ノ便否ヲ考慮スルナラバ考ヘナケレバナラヌ問題デアラ  
ウト思フ、ケレドモ之ニ對シテ唯今政府委員ハ、時間表ガ  
無イカラシテ分ラヌト云フコトヲ言ハレマスガ、交通ノ便否  
ヲ御調ベニナタラ、其邊ニ付テ方法ガ出來ルト思ヒマスガ  
交通ノ便否ニ付テ餘リ深イ御調ガ無イヤウニ思ヒマスガ如  
何デス

○政府委員、法學博士鈴木喜三郎君、詳細ノ調査ハ盡  
シテ居ルノデゴザイマシテ、唯今此處ニ調査材料ヲ持タヌト  
言フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、成程茲ニ鑑別致シマシ  
テ、或ハ一村カニ村位ハ足利ト佐野ト較ベテ佐野ガ便利  
デ、足利ガ不便トスル場所モアルノデゴザイマセウガ、大體  
カラ論ジマシテ足利ヲ優レリト考ヘマス、一ツノ較ベテ見  
バ、成程近イ所モアレバ遠イ所モ生ズルニハ相違アリマセヌ  
ガ、私ノ申シマスノハ、大體カラ論シテ足利ヲ以テ便利トス  
ル、町民數デゴザイマセヌ、他ニ町ノアルコトヲ承知シテ居  
リマス、其人口ヲ加フルコトニシマスレバ、二分ノ一ニナラヌ  
マデモ分テ居リマスガ、併ナガラ左様デアラナラバ足尾ノ方  
ヲ入レマスレバ、足尾ガ三万以上ノ人口ヲ持テ居リマスガ  
ラ、是ハ餘程懸隔ヲ生ズルコトニナル、私ガ町民ノ數ニ於テ  
違フト申シマシタノハ、所在地ダケノ町民ノ數ガ違フト云フ  
コトヲ申シマシタノデアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス  
○委員長、法學博士政尾藤吉君、質問ハ大抵盡キタヤ  
ウデアリマスカラ、討論ガアリマスレバ討論ニ移リタイト思ヒ  
マス

○高見之通君、討論ニ御移リニナタノデスカ  
○委員長、法學博士政尾藤吉君、如何デス、討論ニ移  
テハ……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長、法學博士政尾藤吉君、ソレジャ討議ニ移リマス  
○高見之通君、私ハ原案全部賛成デアリマス、併ナガラ  
一寸之ニ對シテ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレハ  
越前ノ三國ノ區裁判所ノ復活問題デアリマス、此前ノ整  
理ノ時ニ於テハ、越前ノ三國區裁判所ハ、區裁判所トシテ  
存在シテ居タノデアリマス、ソレヲ其後ノ復活ノ場合ニ於  
キマシテ、福井縣南條郡ノ武生町ニ區裁判所ヲ置カレテ、  
其方ニ屬シタノヲ以テ私ハ非常ニ遺憾ト思ヒマス、私ハ當  
局ノ御方モ御存ジノ通り富山縣デアリマス、福井縣ニ議員  
ノ籍ヲ有セラル、熊谷五右衛門君ノ如キ、最モ熱心ニ  
此委員會ニ席ヲ列セル權利ガアリマセヌカラ、私ヲ經テ仰シ  
ヤルノデスガ、三國町民ガ坂井郡三十一町村ノ非常ナ熱  
烈ナル希望ヲ以テ、私ノ口ヲ經テ言ウテ居ルト云フコトヲ當  
局ハ耳ヲホジテ聽イテ賞ヒタイ、三國町ハ福井縣ノ北端  
デ、福井縣坂井郡三十一箇町村ヲ管轄スル區役所、並ニ  
警察署、稅務署ガアツテ、人口約一万余アリマス、此交通ハ  
越前ノ最モ大キナ川アル九頭龍川ノ川口ニ在テ、日本  
海ニ面シテ、始終海運舟楫ノ便ガアルノデアリマス、又陸  
方ノ交通ヲ申シマススト云フト、三國支線ガアリマシテ、サウシテ  
フ驛カラ分岐シテ居ル所ノ三國支線ガアリマシテ、サウシテ  
米穀其他物價ノ集散ガアリマシテ、商業ノ取引ガ非常ニ頻  
繁デアリマス、第四十議會ニ於キマシテ此問題ノ經過上カ  
ラ申シマスレバ、請願ニ於テ滿場一致デ復活ノ採擇ニナ  
居リマス、今回同町長カラシテ再請願ヲ提出シテ居リマ  
ス、恐ラク滿場一致ヲ以テ採擇シテ復活デアラウト思フ、故ニ  
單ニ獨リ町ダケノ希望デアアルノミナラズ、衆議院ニ於キマシ  
テモ、此希望ノ妥當ナルコトヲ認メルコトハ、之ヲ以テ明  
デアルト思ヒマス、現ニ距離ノ點カラ申シマスレバ、福井市  
ヲ中心ニシテ武生町ニ至ル約五里、ソレカラ金津ヲ經テ三  
國ニ至テモ其位ノ程度デアツテ、却テ金津カラ三國ニ廻リ  
マスト里數ガ七里位ニナル、福井ヲ中心ニシテ武生ニ五里  
位デアツタトシタナラバ、金津ヲ經テサウシテ三國ニ行ク、殊  
ニ交通頻繁ナル所ノ一ツノ港デアルト云フ所ニ、何故ニ置  
カナイノデアアルカト云フコトハ誰ガ見テモ分ル、詰マリ此所ニ  
是非置カナケレバナラヌト云フ理由ガ分ルデアラウト私ハ思  
フノデアリマス、斯ク申上ゲテ、必ズシモ武生ニ御置ニナ  
タト云フコトヲ反對スル意味デナク、之ヲ嫌ム意味デモアリマ  
セヌ、唯、武生ニ置カレルト云フコトハ、非常ニ適當ナル處置  
デアルト同時ニ、ソレヨリモ遠キ距離ニ在ル三國ノ町ニ  
何故置カナイノデアアルカト斯ウ私ハ思フテ、敢テ政府ノ意見  
ヲ聽イテ見タイト思フ位デアリマス、之ヲ要スルニ以上ノ事  
情ノ下ニ於テ、正ニ三國ノ町ニ置イテ區裁判所ヲ復活シ

ナルベキ所ノ理由ハ昭々トシテ明カナリト信ジマス、而シテ  
冒頭ニ申シマシタル如ク、此希望ハ熊谷君其他坂井郡一  
般ノ非常ニ熱望デアルト云フコトハ、私ハ其等ノ人ノ熱望  
ヲ此所ニ移シテ以テ、當局ノ十分ナル御參考ニ供シタイト  
思フノデアリマス、ソレ故ニ本議會ハ到底間ニ合ヒマセヌケ  
レドモ、此議會ガ濟ミマシタナラバ直グ取調ヲ願フテ、來ルベ  
キ四十二議會ニ於テハ、是非之ヲ何トカシテ御提出ニナラ  
ンコトヲ特ニ繰返シマシテ懇願スル次第デアリマス、此事ヲ  
希望トシテ、特ニ政府當局ノ耳ニ十分ニハレテ戴キタイ  
○赤尾彦作君、三案ヲ通ジテ一緒ニ採決スルノデスカ  
○委員長、法學博士政尾藤吉君、サウデス、一括シテ……  
○赤尾彦作君、高見君ノ原案ニ異議ノナイト云フ御説ガ  
アツタヤウデアリマスガ、彼レハ原案全體ニ就キマシテ採決  
スルト云フ御意見デアリマスガ、ソコガ不明デアリマスカラ、  
本員カラ更メテ茲ニ原案ヲ賛成致シマシテ、全部原案通り  
決定致シタイト云フ説ヲ提出致シマス

○高田松平君、私ハ修正説ヲ提出致シマス、ソレハ裁判  
所設立ニ關スル法律案ノ中第五項ノ「栃木縣足利町ニ區  
裁判所ヲ置キ之ヲ足利區裁判所ト稱ス」ト云フノヲ「栃  
木縣安蘇郡佐野町ニ區裁判所ヲ置キ之ヲ佐野區裁判所ト  
稱ス」、斯ウ云フノデアリマス、詰マリ足利ニ新設スルヨリモ、  
寧ロ佐野ニ復舊スル方ガ總テノ理由ヨリ當然デアルト云フ  
コトデゴザイマス、隨テ大正二年法律第九號中、同表中「栃  
木縣裁判所ノ項ヲ左ノ如ク改ム」ト云フノヲ「足利」トアリマ  
スノ「佐野」ト修正致シマス、以上デゴザイマス、理由ハ委  
シク此所デアリ述ベマセヌデ、本會ニ於テ述ベマス

○井戸文四郎君、私モ高田君ノ修正説ニ賛成ヲ表シマ  
ス、無論此修正説ハ、少數デ否決ニナルモノト存ジマスガ、  
自介ノ意見ト致シマシテハ、修正説ニ賛成ヲ致シタイノデ  
アリマス、此案ニ付キマシテハ、政府委員カラモ詳細ナル説  
明ガアリマスルシ、又高田君カラモ修正ノ理由ヲ述ベラレマ  
シタガ、自分ハ此邊ノ地理ハ十分知リマセヌ、狀況モ知リマ  
セヌ、唯、双方ノ述ベマシタ所ヲ聽キマスルト、永ラク裁判  
所ヲ二十一年間モ置カレテアツタ歴史ヲ有テ居ル佐野ト云  
フ土地ニ復活セズシテ、足利ニ置クト云フ理由ハ餘リ當  
得タル御議論デナイト私ハ考ヘマス、尙又安蘇郡ノ關係ノ  
人カラ寄越シタ書面ニ依ッテ見マスルト、政府委員ハ、無論  
其中心ヲ足利町ニ取ルノガ至當デアルト云フ御議論デアリ  
マスケレドモ、現ニ足利町民並ニ町長ノ如キスラモ、大正  
二年ニ此區裁判所ガ廢止ニナリマシテ以來大正六年マデ  
ハ、佐野町ニ區裁判所ヲ復活シテ吳レト云フ請願ヲ連署シ  
テ出シテ居ル歴史ガアリマス、數年間モ足利町ニ置イテ吳  
レト云フコトヲ言ハズシテ、元ノ佐野町ニ復活シテ吳レト云

フ手續ヲシナガラ、大正六年ノ十二月ニ至テ、初メテ足利町民ガ足尾地方ノ人ト關聯シテ足利町ニ新設シテ吳レト云フ請願ヲ出シタト云フ順序ニナッテ居ルヤウデゴザイマス、想フニ此本案ヲ御提出ニナリマスノモ、矢張足利町ガ大正六年ノ末ニ至リマシテ、初メテ足利町ニ區裁判所ヲ置イテ吳レト云フ請願ヲ出シタ趣意ニ基イテ、御提出ニナタモノノヤウニ考ヘラレマスルガ、兎ニ角大正六年マデハ足利町民ハ、佐野ノ舊トアル所ニ復活シテ貫ヒタイト云フコトヲ連署シテ出シテ居タ所ガ、突然大正六年十二月ニ至テ、足利町ニ置イテ吳レト云フ請願書ヲ出シタト云フ歴史カラ考ヘマシテモ、足利町民ノ言フ如ク、足利町ニ置クヨリモ、佐野町ニ復活スベキハ政府トシテ穩當ノ處置デアルト思ヒマスカラ、修正說ニ賛成致シマス

○赤尾彦作君 御質問ノ應答ニ依リマシテ、原案ガ適當デアルカ、修正說ガ適當デアルカト云フコトハ、略ボ我々ニ於テ十分了解スルコトガ出來マスカラ、更メニ其理由ヲ申上ゲル必要ハゴザイマセヌガ、原案ヲ維持スル上ニ於テ、一言原案賛成ノ理由ヲ申シテ置キタイト思ヒマス、修正說ヲ御提出ニナタ方ノ唯一ノ理由ハ、區裁判所ヲ足利町ニ設置スルトキニハ、其管轄區域内ノ一部デアアル安蘇郡ノ或ル町民ハ、一日内ニ往復ガ出來ナイト云フコトガ唯一ノ理由ノヤウデ、其他ニ於テハ何等ノ理由ガ無イヤウニ思フ、併ナガラ裁判所デアリマセウトモ縣廳デゴザイマセウトモ、苟モ官衙ヲ設ケマスルニ當リマシテハ、地域ノ中心ノミヲ以テ唯一ノ標準トスルベキモノデハナイ、其地方ノ管轄内ノ經濟狀態ヤ、事件ノ件數、總テノ狀態ヲ觀察シテ、最も適當トスベキ場所ノ選定ヲシナケレバナラス、隨テ政府委員ノ先日來ノ御説明ニ依リマシテ、其點ハ十分了解ガ出來ル、殊ニ足利ニ設ケルト云フ點ニ付キマシテハ、前ニ衆議院デ請願ガ採擇ニナッテ居リマシテ、院議尊重ノ上カラ言ヒマシテモ、足利ニ設ケルガ適當デアラウト思フ、即チ修正說ニ御賛成ノ方ノ意見トシテ、以前ハ佐野ヘ區裁判所ヲ設置スルト云フ請願ガ出テ來テ居タガ、大正六年ニナッテ初メテ足利ヘ設ケルト云フ請願ガアッタノデ、隨テ郡民ノ意嚮ハ、佐野ノ方ヘ希望シテ居ルヤウデアルト云フ御意見ノヤウニ思ヒマシタガ、私ノ見ル所ニ依リマスルト、成程地方ノ狀況ノ變化ヲ來サナイ以前ニ於テハ、佐野町ヘ設ケルト云フ希望ヲ有ッテ居タ者ガアツカ知レマセヌガ、地方ノ狀況ガ日ニ月ニ變化ヲ致シテ參リマシタ今日ニ於テ、足利ニ設ケルノ適當ナリトシテ郡民ガ衆議院ニ請願ヲシ、衆議院ガソレヲ採擇致シマシタトシタナラバ、佐野ガ適當ノ場所デナイ、足利町ニ設ケルノ適當デアルト云フ立派ナ證據ニナル、活キタ證據デアラウラウト思フ、隨テ以前佐野町ニ設置シタイト云フ

請願ガアツタト云フコトハ、足利町ヘ設ケル反對ノ理由ニ非ズシテ、足利町ヘ設ケナケレバナラス有力ナ理由ニナルダラウト思フ、院議尊重ノ上カラ言ッテモ、矢張原案ヲ可トスル考デアリマス

○近藤慶一君 原案賛成デアリマス、唯今修正ノ意見モアリマシタガ、多少同情スベキ點モアラウトハ存ジマスガ、原案ヲ覆スダケノ價值ガナイト考ヘマス

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 討論終結ニ致シマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 政府提出法律案第十四、第十五、第十六號即チ裁判所設立ニ關スル法律案外二件ヲ全部原案ニ賛成ト云フ動議ト、ソレカラソレニ對スル修正ノ動議ガ出テ居リマス、ソレハ即チ第十四號ノ「栃木縣足利町ニ區裁判所ヲ置キ之ヲ足利區裁判所ト稱ス」ト云フヲ「栃木縣安蘇郡佐野町ニ區裁判所ヲ置キ之ヲ佐野區裁判所ト稱ス」ト云フ風ニ修正シテ、向ホ第十五號ノ別表ヲ、ソレニ從ッテ修正スルト云フ修正ノ動議ト此所ニ出テ居リマス、先ヅ此修正ノ動議ノ方カラ決ヲ採リマス、修正案ニ御賛成ノ方ハドウカ御手ヲ舉ゲテ戴キタイ

舉手者 三名

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 三人デアリマス、原案一括シテ三案共原案ノ通り御賛成ノ方ハ御手ヲ舉ゲテ戴キタイ

舉手者 九名

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 九名——大多數デアリマス、原案通りニ可決致シマシタ、散會致シマス

午前十一時十五分散會